

1809

2011・1/10

大阪教育

昭和29年2月16日第三種郵便物認可/毎月10日発行/1部30円(組合員は組合費に含む)/発行・大阪教職員組合・〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11・大阪府教育会館7F/TEL 6768-2330/FAX 6768-2239/daikyoso@daikyoso.jp 編集発行人・田中康寛/印刷・関西共同印刷所

2011年

迎春



笑顔あふれる学校づくり



堺教組 野田中学校分会

新しい年、職場・学校づくりでの活躍が期待される野田中分会のみなさん

若者のパワーに期待

今年で創立26年を迎えた堺市の野田中学校。生徒数約300人と市内では小規模校ですが、ここ数年、若い教職員が増える中、教職員が一丸となって生徒を主人公にした笑顔あふれる学校づくりにと取り組んでいます。職場を訪問し、職場活動や教職員と生徒が心を通わせとりくんでいる教育・学校づくりの様子をお聞きしました。

明るく元気に

野田中学校でも、若い教職員が増え、職場活動とともに、教育・学校づくりでも青年教職員への期待がふくらんでいます。「教職員も生徒もとにかく明るくて元気」「生徒がとても落ち着いていて、何事にも熱心にかんばってくれます」「教職員と生徒との関係がとてもいいです」と、青年教職員の方が話してくれました。

行事や授業でも生徒を主役に

ここ数年間の学校づくりで、特に大事にしてきたことは、行事で育つ生徒、授業で育つ生徒を目標に、何事も生徒を主役にしたとらえ方を重視してきたことです。多くの

行事もできるだけ全校行事として位置づけ、生徒会や実行委員会などでよく議論し、生徒自身の手で作り上げる活動を推進。経験を積み重ね、自分たちで行事をつくり成長する姿が見られます。授業・学習面でも、

本気で話し合える職員室が最高



杉本 亜喜子さん (分会長 3年担任)

本校に勤めて6年目。新任からお世話になっている職場の役に立てればと、昨年から分会長をしています。

「各教科でのきめ細かな手だてや指導を基本に、教師主導型から生徒が主体的に参加する授業を全教職員が心がけています」とにかく明るく楽しい職場と生徒との信頼関係が大事」と語ってくれました。

得手をいかし、絆を深める

教職員同士の絆を深める活動も本場に活発です。教職員(有志)のバンド活動、アウトドア活

若い世代への継承が大事



阪口 香月さん (進路指導主事 3年学年主任)

ばれるのは、それを支えるベテランの先生方がいるからです。どんな小さなことにもこだわって、本気で討議しあえる職員室は活気があって勉強になります。職員全員にと

職場活動や教育・学校づくりでも若い世代への継承に力を入れています。組合がこれまで積み上げてきたことも含め、何が大事なかをいっしょに考えていくことに今年1年頑張ってみようと思っています。



湧水

「動脈のよ」 うに子どもら 駆けめぐり校舎 目覚める月 曜の朝」(錦

武志) ▼宮沢賢治の『セロ弾きのゴーシュ』を読み返してみた。三上浩さんは、この童話には人間の成長についての賢治の確かな認識があるという▼楽団の中で一番下手なゴーシュが、演奏会では聴衆の心を鷲づかみにする。彼を訪ねてくる動物たちの働きかけや教えが、ゴーシュの感情を刺激し、それまでのやみくもの努力に一条の光と新しい気づきを与え、ゴーシュの音楽の魅力を開花させたのだ。しかし、それまでには怒りと反発、欠点の指摘にどう向き合

うかなど、内面の葛藤が必要だった。それを乗り越えて新しいゴーシュがあるのだが、また本人の自覚はあまりない▼子どもの成長は行きつ戻りつで、一直線にすすまないのはいうまでもない。間違いやつまづきの中に学びや成長の契機があり、教を指針にしながらも、子どもは自分の力で成長するものであることを「セロ弾きのゴーシュ」は示している▼学校が競争や序列で子どもを刺激するのではなく、子どもの葛藤に共感し励ましを送ることができ、子どもが安心して間違えてもいいところでありたいものだ。(K・T)

11年度 政府予算案

35人学級は小1のみ

(関連記事) 2・3面